

写真募集中!!

# 芦屋のペット大集合写真展

9月21日～10月3日  
市民センター展示場にて開催



## 芦屋のペット大集合写真展

開催地の切り、平成26年9月3日(土)

応募方法は、ペットの写真を一人一枚のみメールで下記まで送付ください。  
A4サイズにて展示させていただきます。

送付先アドレス: ashlya\_koumukaw@yahoo.co.jp

募集内容: 飼っておられる犬や猫などのペットの写真をメールで送付。  
住所・氏名・電話番号・ペットの種類と名前を記入ください

※人気投票を会場で行います。上位5名には市内厚岸事務所よりささやかな  
記念品を贈呈。

## 写真ご持参の方は (A4サイズ) 下記ご記入ください

- ・住所 芦屋市 町
- ・お名前
- ・ペットの種類
- ・電話番号
- ・ペットの名前

☐ ・お問合わせは 芦屋市立公民館 芦屋市業平町8-24  
電話0797-35-0700 FAX 0797-31-4998

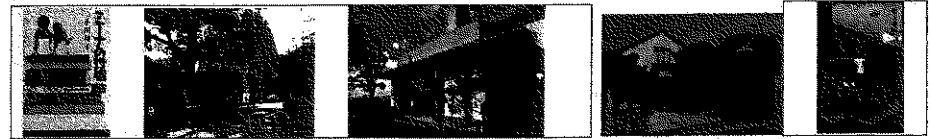
募集

公民館講座

## 芦屋の街かどウォッチング

みんなで探そう! 街の歴史・文化・自然・再発見

文化と歴史の街、自然豊かな芦屋の街を講師と一緒にウォッチングしませんか。  
街の文化や歴史を詳しい講師の方々に、ご案内をしていただきます。



定員 20人 資料代等(全2回分 200円) \*入館料別

9月10日 (土)	阪神芦屋駅 9時30分	小川洋子『ミーナの行進』、遠藤周作『口笛をふく時』 の舞台となった芦屋の街角探検 阪神打出駅前—市立図書館打出分室—業平橋—伊藤 動物園跡—芦屋山手サンモール商店街—開森橋—山 手小学校—国指定重要文化財ヨドコウ迎賓館 12頃現地解散 *別途入場料 500円 映画「瀬戸の花嫁」「シーズレイン」「細雪」のロケ 地も解説します。	西宮芦屋研究所 蓮沼純一氏
9月21日 (水)	阪急芦屋川駅 9時30分	芦屋川に沿って、谷崎潤一郎、村上春樹、高浜虚 子など芦屋ゆかりの文学者の道をたどります 阪急芦屋川駅—開森橋—細雪の碑—高浜虚子三 代句碑—芦屋市民センター—業平橋—芦屋川左 岸、右岸—虚子記念文学館—松浜公園—芦屋川河 口 12頃現地解散 虚子記念文学館:企画展示【星野立子展】 *別途入場料 500円	神戸国際大学 非常勤講師 小西巧治氏 虚子記念館 学芸員

備考 小雨決行 歩くことができる服装でご参加ください

■申し込み方法 ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入のうえ

はがきかファクスで平成26年8月30日(火)までに公民館へ  
各回ごとのお申し込みはできません。(※募集多数の際は芦屋市民優先の上抽選)

(おて先) 〒659-8068 芦屋市業平町6-24 芦屋市立公民館

主催 芦屋市立公民館 (TEL 0797-35-0700 FAX 31-4998)

# 第3回 ホームムービーの日記念事業

入場無料

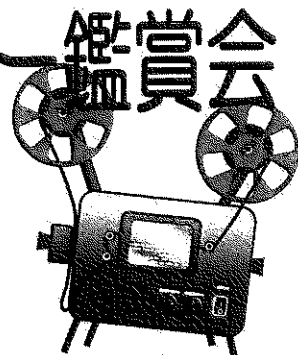
## 市民の豊かな記憶を掘り起こす

# 芦屋ホームムービー鑑賞会

2016年 10月8日(土)

午前10時00分～11時30分

芦屋市民センター 401室



ホームムービーの日は、家庭に眠っているプライベートフィルムを持ち寄って上映する国際的な企画です。ユネスコの「世界視聴覚遺産の日」に合わせ、毎年10月に開催され、芦屋市でも、一昨年から芦屋ホームムービーの日の事業を始めました。市民の家庭にある貴重な映像や写真などから、豊かな記憶を掘り起こしていただきます。

皆さまのご参加をお待ちしています。

### 【上映予定のムービー】

1. 昭和初期、翠ヶ丘の風景と地域住民がつくり上げた「お山の幼稚園」
2. 二つあった精道小学校  
宮川小学校（精道第二尋常小学校）の運動会風景
3. 懐かしい芦屋の路面電車
4. その他



司会 …西宮芦屋研究所 小西 巧治さん

### 【コメンテーター】

野中新兒さん（日本の鉄道完乗） 若林伸和さん（芦屋学研究会事務局長）  
河内厚郎さん（文化プロデューサー）

### 【映像提供】

池浦隆一さん（翠ヶ丘在住）

■ 申込みは不要です。直接、会場にお越し下さい。先着 100 名。

■ 主催 芦屋市立公民館 (TEL 0797-35-0700)

# 秋の公民館講座 開講記念講演会

無料

## テーマ ル・コルビュジエとライト建築と芦屋

～コルビュジエ建築が世界遺産となった2016年～

本年7月17日、ル・コルビュジエの建築作品が世界文化遺産に登録されました。芦屋市内には、コルビュジエに師事し、モダニズム建築を実践した坂倉準三の坂倉準三建築研究所によって設計された芦屋市民センターやフランク・ロイド・ライト設計の旧山邑家住宅（ヨドコウ迎賓館）など「モダニズムの古都」芦屋に相应しい建築物が点在します。ル・コルビュジエ、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエの「近代建築の三大巨匠」の内、二人の巨匠とゆかりの建築物を有する芦屋の建築や景観の魅力について、三宅正弘氏に語っていただきます。

■ 日時 平成28年 10月 6日(木) 午前10時～11時30分

■ 会場 芦屋市民センター 401室

■ 講師 武庫川女子大学 准教授

三宅正弘 氏



講師 三宅正弘（みやけ まさひろ）氏 プロフィール

1969年芦屋市生まれ 大阪大学大学院博士課程修了 博士（工学）

フランス人文科学研究所受入教授などを経て武庫川女子大学准教授

専門は都市計画、美食空間学。料理、社交から多文化共生に関する研究に取り組む。芦屋のライト坂の命名者、著書に『甲子園ホテル物語 —西の帝国ホテルとフランク・ロイド・ライト—』等多数

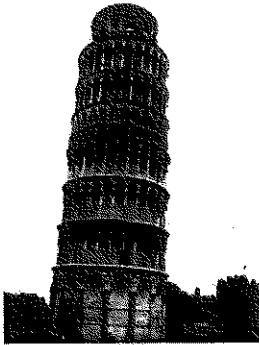
■ 申し込み 申込み不要、直接会場へ / 入場無料（先着 100 名）

■ 問い合わせ先 芦屋市立公民館 TEL 35-0700

■ 主催 芦屋市・芦屋市教育委員会

サイエンス講座が始まります !!

テーマ 科学をいまどう理解するか

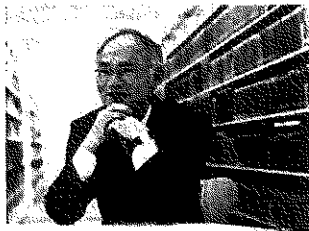


近代以降、そして現在でも急激に加速する科学や技術の驚くべき進歩は、頭脳をもつに至った人類の進化過程における必然の結果なのでしょうか。その進歩は、いま私たちがそれを直接的に制御できない特異点を迎えているという不安を呼び起こしています。

しかし、もし私たちがその頭脳で多様な科学や技術のもたらす未来への道筋を適切に取捨選択できるならば、その不安は和らぎ、人類の文明はさらに続いていくのではないのでしょうか。そのためには、一人ひとりが科学や技術の基礎的な知識を理解し、賢明な選択のもとになる自然科学的な世界像を描けねばなりません。皆様の理解を深めるため、この講座ではわかり易く解説いたします。

◇時間午前 10 時 00 分～11 時 30 分 定員 80 名 受講料 1,200 円 (3 回分)

回	月 日 (曜)	会 場	内 容	講 師
1	平成 28 年 10 月 15 日 (土)	市民 センタ ー 401 室	科学と私たちのかわり J.S.ミル『大学の教育について』の科学教育から 始め、基礎科学発展の流れを振り返ります。	甲南大学名誉教授 太田 雅久 氏
2	11 月 5 日 (土)		目に見える世界と見えない世界の物理学 古代ギリシャ自然哲学、ニュートン古典力学から 量子力学までの世界像と我々の暮らしへの影響。	
3	11 月 19 日 (土)		最近の科学の話題の解説 青色 LED、113 番元素、ニュートリノの質量、 重力波の観察、翻訳機能の発展等々。	



太田 雅久 (おおた まさひさ) 先生のプロフィール  
1943 年、大阪に生まれる。大阪大学理学部物理学科卒業、甲南大学大学院自然科学研究科修了。理学博士 (甲南大学)。甲南大学理工学部教授を経て同マネジメント創造学部に移籍し 4 年間の教養教育担当ののち退職。現在、西宮サイエンス談話会を主幹。専門は原子核理論物理学。

■ 申し込み方法 ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入の上、ハガキでファックスで 9 月 21 日 (水) までに公民館へ (応募多数の場合は市民を優先の上、抽選)  
<宛先> 〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館

■ 主 催 芦屋市立公民館 (tel0797-35-0700・fax0797-31-4998)

《映写と講演のひととき》

シルクロードの 光彩

シルクロードは東洋と西洋の文化交流の道です。また、仏教東伝のルートです。マルコポーロやチンギス・カン、鳩摩羅什や玄奘三蔵が往き交った道です。西域調査 60 回、20 カ国を訪問した講師が、悠久二千年の歴史と文化を、映像も使用しながらわかりやすく解説します。

時間 午後 2 時～午後 3 時 30 分 定員 80 人 受講料 1,200 円 (全 3 回分) 市民センター講義室 (401 室)

第 1 回	10 月 14 日 (金)	地中海シルクロード紀行 IS に破壊される前の世界遺産パルミラ王国を訪ねて
第 2 回	10 月 21 日 (金)	藤原京とペルシアの交流 新沢千塚古墳のガラス碗の通って来た道
第 3 回	10 月 28 日 (金)	インドシナ半島 4 カ国の仏教遺跡に立つ ミャンマー・タイ・カンボジア・ラオスの調査報告を中心として



シリア・パルミラ

講師 / 山田勝久 (大阪教育大学名誉教授)

1943 年、名古屋市に生まれる。早稲田大学国語国文学専攻科修了。北海道教育大学教授、大阪教育大学教授・附属池田中学校長を経て、現在は NHK 文化センター西宮教室「シルクロード」担当講師。権原市観光大使。

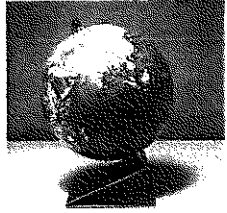
■ 申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、はがきでファックスで 9 月 14 日 (水) までに公民館までお申込み下さい。(応募多数のときは市民の方を優先のうえ抽選)。結果は、はがきでご連絡します。

<あて先> 〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館

■ 主 催 芦屋市立公民館 (Tel 0797-35-0700・Fax31-4998)

平成28年度下期 秋の公民館講座

# 世界はニュースだけでは



## わからない (時事経済講座)

◇ 時間 午後2時～3時30分 定員90人 受講料 2,400円 (6回分で)

回	月日(曜)	会場	内 容	講 師
1	平成28年 10月29日(土)	芦屋市民 センター  401室	「宗教的観点から中東情勢を考える」 中東における紛争や「イスラム国」によるテロ行為の背景には、政治や経済、民族、宗教事情が複雑に絡み合っています。歴史を確認しつつ、とくに「宗教」に注目して現状分析を行い、今後の展望について考察します。	神戸女学院大学教授 日本キリスト教団仁川教会牧師 中野 敬一 氏
2	11月19日(土)		2回目以降のテーマは、政治・経済・社会問題から、アップ・ツー・デートなテーマを選択し、現象面だけの解説に終始せず、ニュースだけではわからない本質に迫ります。	研究者、ジャーナリストなどを予定。
3	12月17日(土)			
4	平成29年 1月21日(土)			
5	2月18日(土)			
6	3月18日(土)			

■申し込み方法 ①講座名、②住所、③氏名、④電話番号を記入のうえ、はがきかファックスで9月20日(火)までに公民館へ(応募多数のときは、市民の方を優先のうえ抽選)  
(あて先) 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 公民館

■主催 芦屋市立公民館 (Tel 0797-35-0700、Fax 0797-31-4998)

NHK公開講演会

# メアリー・カサット展



■テーマ 印象派の女性画家、メアリー・カサットの軌跡

■講師 牧口 千夏 (まきぐち・ちなつ) 氏 (京都国立近代美術館学芸課 主任研究員)

■申し込み 入場には整理券が必要です。必ず往復はがきの往信ウラ面に、  
①講演会名、②住所、③氏名、④電話番号、⑤参加希望人数(1名または2名)をご記入のうえ、**10月5日(水) <必着>**までに。(応募者多数のときは抽選)  
返信面のオモテに必ず郵便番号、住所、氏名をご記入ください。ウラ面は空白にしてください。

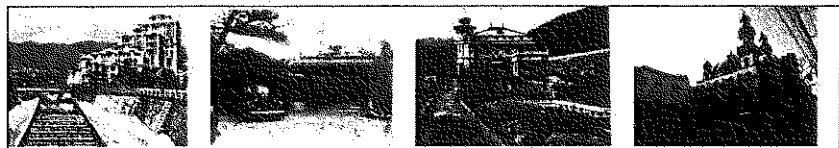
■あて先 〒659-0068 芦屋市業平町8-24  
公民館「NHK公開講演会 メアリー・カサット展」係

■問い合わせ 公民館 ☎0797-35-0700 FAX 0797-31-4998

# 神戸、阪神間街かどウオッチング

みんなで探そう！街の歴史・文化・自然・再発見

文化と歴史の街、魅力あふれる神戸、阪神間の街を講師と一緒にウオッチングしませんか。  
街の文化や歴史を詳しい講師の方々に、ご案内をしていただきます。



定員 20人 資料代等(全2回分 200円) \*入館料・交通費別

回	月 日(曜)	集合場所	内容 (予定)	ナビゲーター
1	11月10日 (木)	阪急芦屋川駅 9時30分	歴史を刻んだお屋敷街、御影・住吉「清流の道」を下る 阪急御影駅下車—蘇州園—白鶴美術館(大唐王朝展)—二楽荘跡地展望—住吉川下る—観音林倶楽部跡—オーキッドコート(久原邸跡)—筒松庵—阪神魚崎駅 12時半頃	あにあんクリエイト 副代表 山野隆行氏
2	11月17日 (木)	阪急神戸三宮 駅東口/JR 三宮駅西口 9時30分	世界の神々と連続テレビ小説「べっぴんさん」に出会う街、神戸山手 ジャイナ教寺院—ユダヤ教シナゴーク—神戸ムスリムモスク—関帝廟—元町—センター街など(連続テレビ小説「べっぴんさん」ゆかりの地) 解散 12時半頃	神戸国際大学 非常勤講師 小西巧治氏

備考 小雨決行 歩くことができる服装でご参加ください

■申し込み方法 ①講座名 神戸、阪神間まちかどウオッチング ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入のうえはがきかファクスで、平成28年10月31日(月)必着で公民館へ  
各回毎のお申し込みはできません。(応募多数の時は芦屋市民優先の上抽選)

(あて先) 〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館

主催 芦屋市立公民館 (TEL 0797-35-0700, FAX 31-4998)

テーマ

# 落語の中の古典

平成24年に11月1日が古典の日として制定されて以来、芦屋市立公民館では、毎年、古典の日記念講演会を開催してきました。芦屋ゆかりの在原業平の和歌「ちはやふる神代もきかず菟田川からくれなゐに水くくるとは」を題材にした「千早振る」という古典落語もあります。落語の中にみられる古典を、落語界の若手のホープ、桂吉坊氏に語っていただき、古人の心を偲びます

2016年 11月4日(金)

午後2時00分～3時30分

芦屋市民センター 401室

テーマ 落語の中の古典  
講師 落語家 桂吉坊氏

講師 桂吉坊(かつら きちぼう)氏プロフィール

1981年(昭和56年)年 西宮市生まれ。  
1999年(平成11年)桂吉朝に入門。同年「岡町落語ランド」において「東の旅～煮売屋」で初舞台。  
2000年(平成12年)年から桂米朝のもとで内弟子修業。  
2003年(平成15年)内弟子を卒業後、古典落語中心に舞台を重ねる。  
2007年(平成19年)には62プロデュースの舞台「地獄八景 浮世百景」で役者としてもデビュー。  
2008年(平成20年)映画「能登の花ヨメ」で映画デビュー。  
2011年(平成23年)咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。  
城井十風の名で、落語を題材にした創作歌舞伎「浮世咄一夜仇討」「伊勢参宮神乃飯」や創作浄瑠璃「赤頭巾孝行艶刀」などを書く。



■受講料 無 料

■申し込み不要 直接会場へ(先着100名)

■主催 芦屋市立公民館 (Tel 0797-35-0700)

公民館音楽会

# 雅楽に合わせて舞う女人舞楽

2016年11月12日(土)

午後2時00分～3時30分

〈開場 午後1時30分〉

芦屋市民センター 音楽室

出演：原笙会 はらしょうかい 生川純子 他

昭和32年、京都にて設立。現在は芦屋市を拠点に活動を続ける。雅楽に合わせて舞を舞う「舞楽」を専門とし、日本で唯一、女性のみで活動を行っている舞楽団体。

毎年、西宮神社など多数の寺社奉納の他、2010年寅生堂「ツバキ」CM、2011年NHK大河ドラマ「平清盛」に「五節舞」で出演。



当日の演目 演奏「越天楽」

舞楽「五常楽」 他

「越天楽」…雅楽の中でも最も知られている曲で、「黒田節」でもこの旋律を使用していることで有名。

「五常楽」…女人舞。曲は仁義礼智信の五常に五声を配したといわれる。



□ 参加費 500円

□ 定員 120名 (応募多数の場合は抽選、芦屋市民優先)

□ 申込み ハガキかファックスで、音楽会名・住所・氏名(1人または2人) 電話番号を記入し、10月28日(金)(必着)で下記へ

主催・問い合わせ先 芦屋市立公民館 ☎ 0797-35-0700 FAX 0797-31-4998  
〒659-0068 芦屋市業平町8-24